

一般社団法人日本歯科医学会連合
医療職連携委員会フォーラム

開催報告

「歯科衛生士と歯科技工士の
専門資格獲得を啓発する」

開催日時：2022年11月13日（日）13:00～14:20

オンライン（ライブ）開催+オンデマンド配信（11月13日～12月23日）

一般社団法人日本歯科医学会連合

医療職連携委員会 委員長 柳井 智恵

副委員長 山本 松男

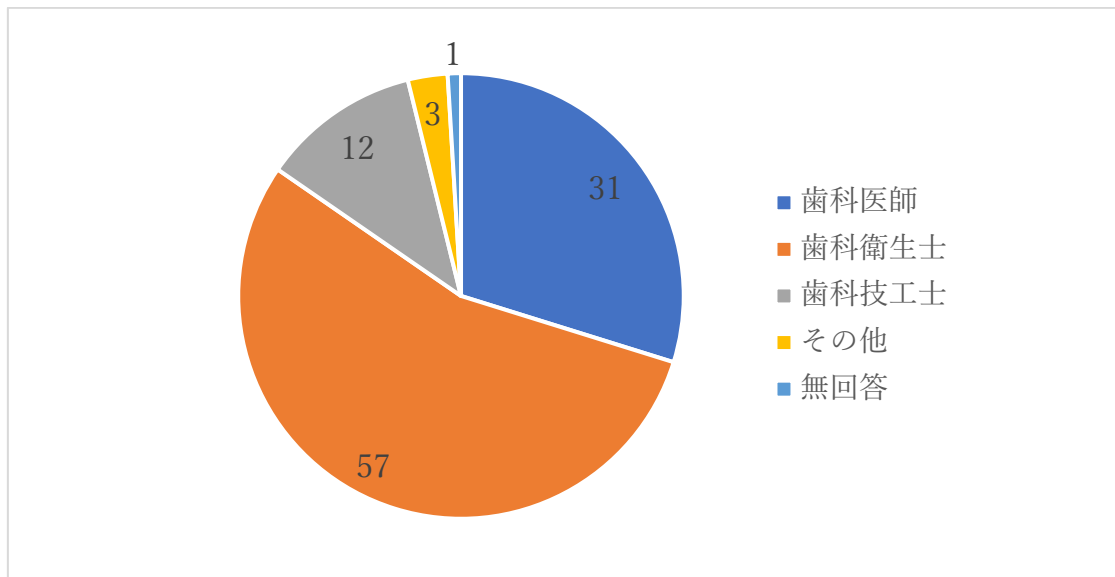
委員 石川功和，吉田直美，大川周治，築瀬武史

幹事 岩田 洋

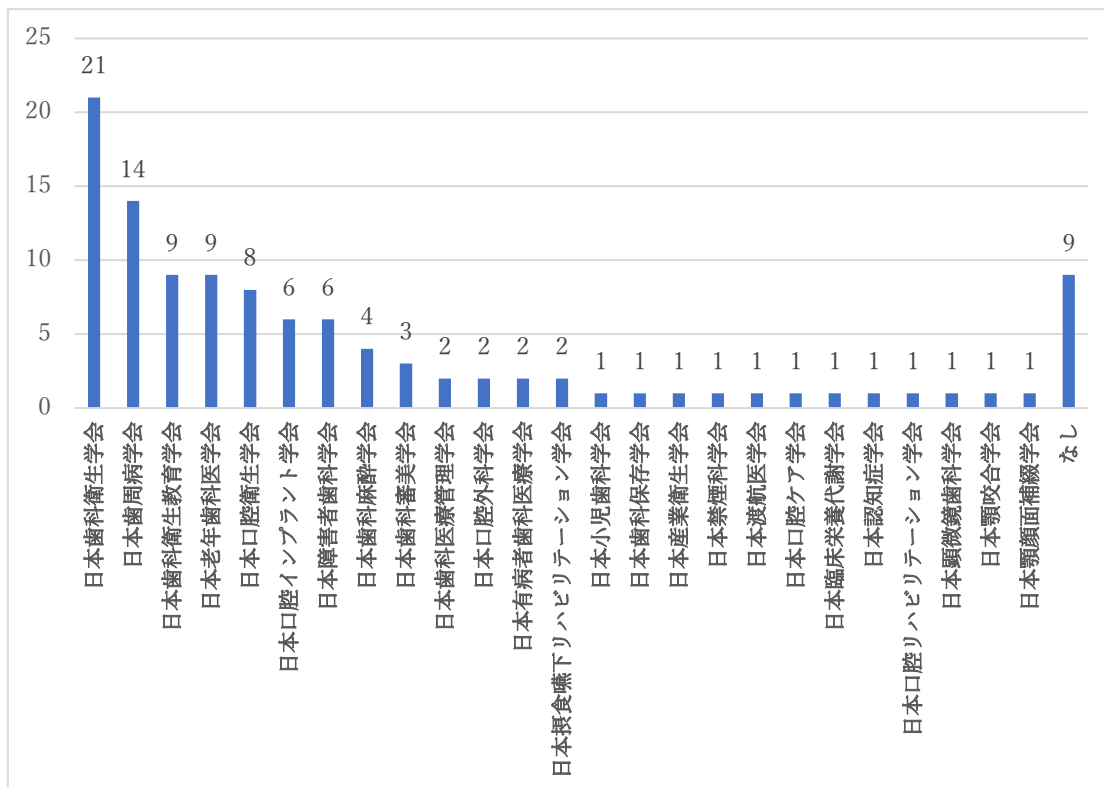
実施期間：2022年11月13日から12月23日

回答数104（参加者133名）

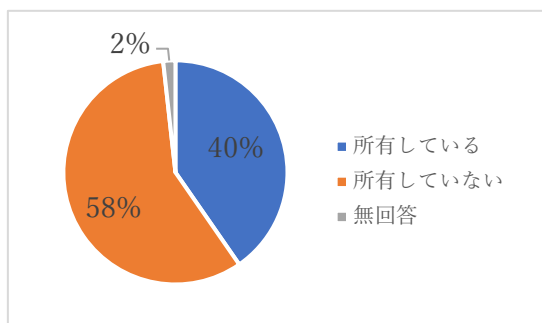
1. 職種をお選びください



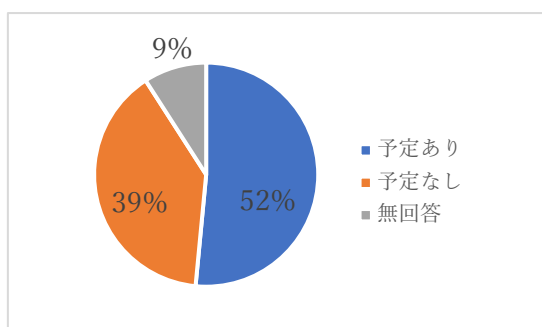
1-1-1 歯科衛生士とお答えいただいた方 所属学会をご入力ください。



1-1-2 歯科衛生士とお答えいただいた方
専門資格を所有していますか。



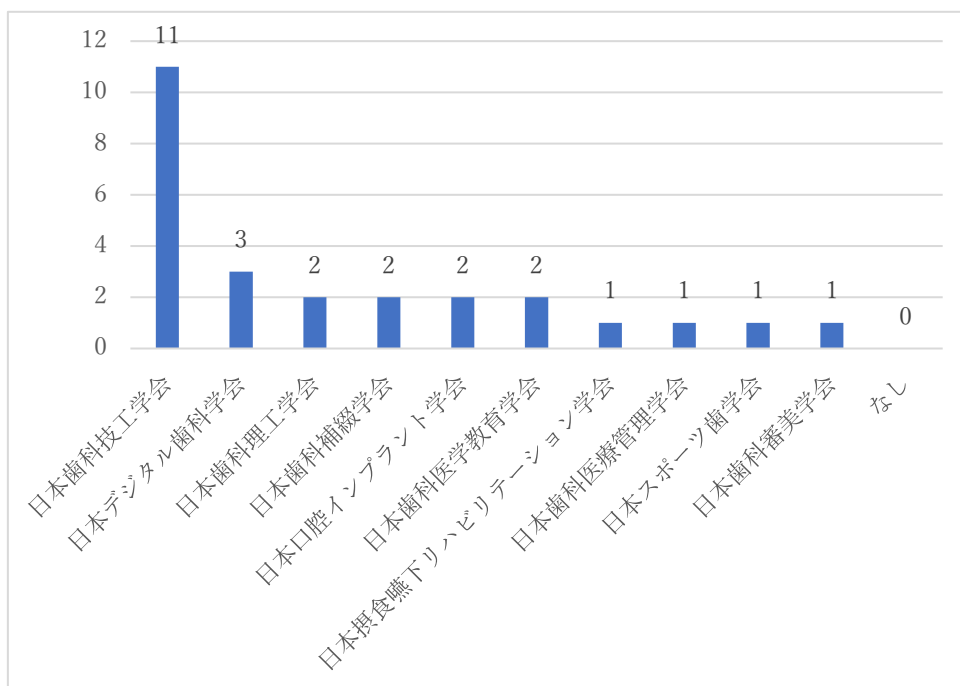
1-1-3 専門資格を所有していないとお答え
いただいた方 取得の予定はありますか。



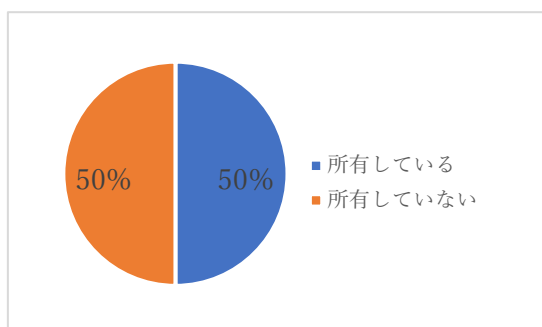
1-1-4 取得の予定なしとお答えいただいた
方 その理由をご入力ください。

- ・今現在取得できる資格が少なく、考えていない。
- ・資格を取得したが、更新できなかった。
- ・資格の魅力を感じていない。
- ・現在の勤務先で必要とされていない。
- ・歯科医院での拘束時間が長く、なかなか時間がとれない。
- ・専門資格を取得するには経費がかかり休日を返上しなくてはいけない。
- ・所属部署からの資金援助や、資格取得する事により賃金が大幅に増加すれば検討するかもしれない。
- ・何をどのように勉強していくのかがわからない。
- ・いつかは取得したい。手続き等が分かりやすく提示されていると大変ありがたい。
- ・今後は専門資格も出てくると思うが、どのようなものになるか明確になってから検討したい。
- ・専門資格を取得できる場が今はまだ無いと認識している。

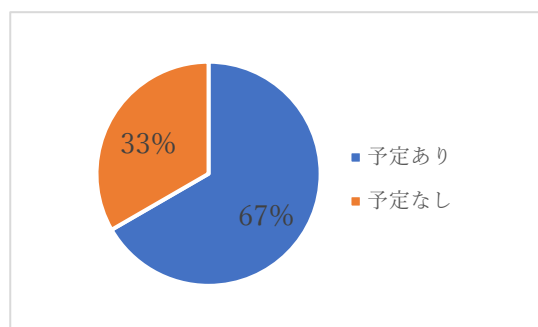
1-2-1 歯科技工士とお答えいただいた方 所属学会をご入力ください。



1-2-2 歯科技工士とお答えいただいた方 専門資格を所有していますか。



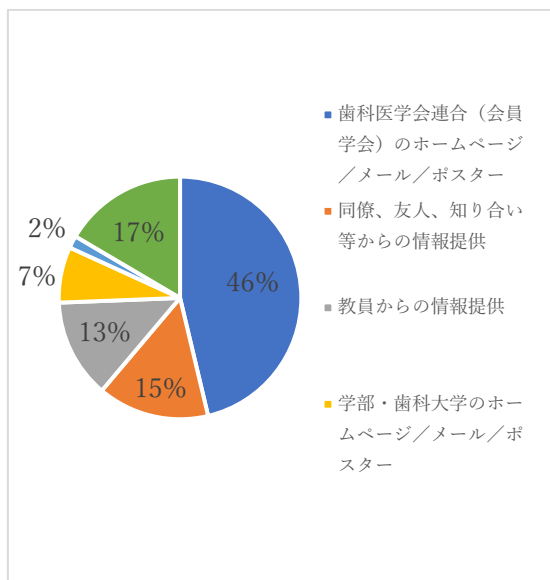
1-2-3 専門資格を所有していないとお答えいただいた方 取得の予定はありますか。



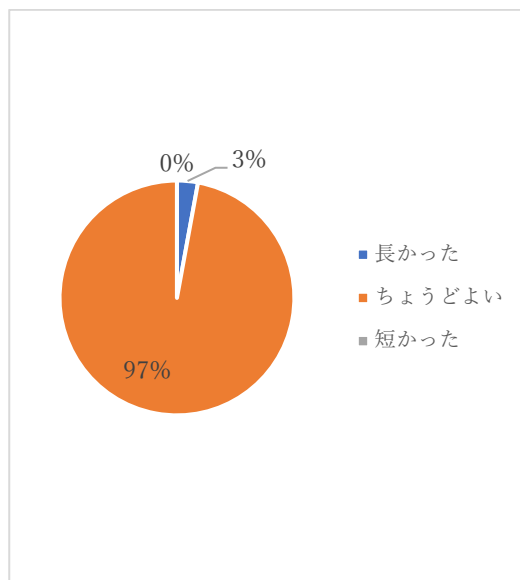
1-2-4. 取得の予定なしとお答えいただいた方 その理由をご入力ください。

- ・取得するのに手間がかかる。
- ・専門資格の取得の必要性がない。
- ・業務過多のため。

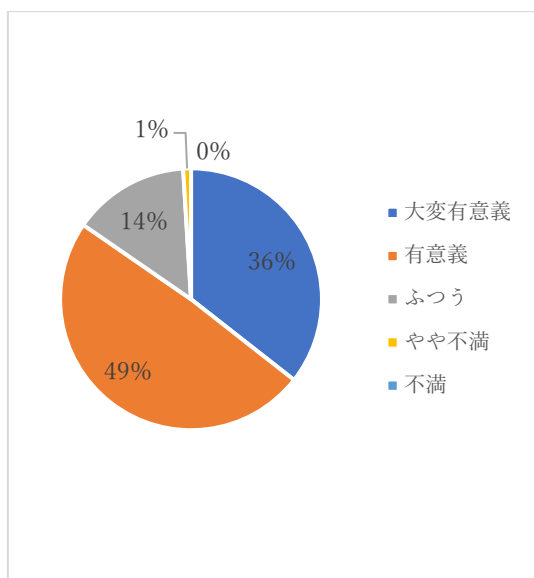
2. 本フォーラムをどのようにして知りましたか。



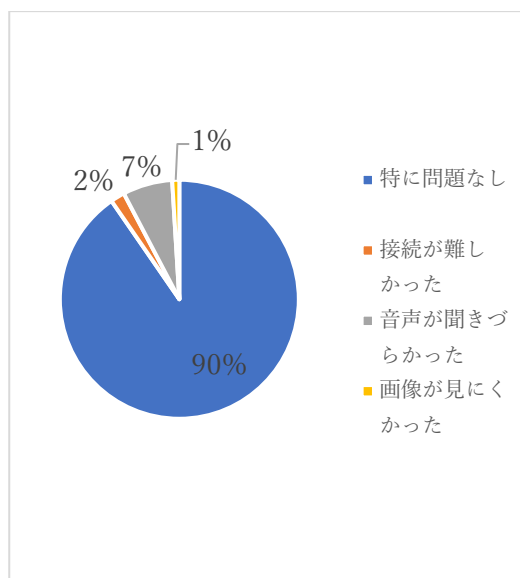
4. 本フォーラムの長さはいかがでしたか。



3. 本フォーラムの内容はいかがでしたか。



5. Zoom による WEB 開催はいかがでしたか。



6. 本フォーラムに関して何かご意見がありましたらお書きください。

【フォーラムの感想】

- ・配信後にも視聴することができるのは良かった。
- ・単一の職種では、取得する資格のメリットや研鑽についての理解が伝えにくく、このような機会はありがたい。学生や若い歯科衛生士は制度などの研修会は敬遠されやすく、具体的な相互関係の好事例が発信できたらよい。
- ・歯科衛生士の専門資格においてある程度広い範囲からではなく、狭い専門分野からもという住友先生のご意見に賛同した。
- ・ぜひ今後も継続して情報のアップデートをお願いしたい。

【さらなる改善点のご意見】

- ・内容が高度で、よくわからない部分があった。ぜひ冊子体にて発行してほしい。
- ・もう少し、相互の討論があった方が良かったと思う。
- ・今後の展望、とくに将来的な職種間の連携についての意見などがわかり辛かった。
- ・歯科衛生士と歯科技工士の専門資格獲得啓発を、いかにして歯科医師および社会を巻き込んで具現化するか、もう少し内容に盛り込めたらよかった。
- ・どの認定分科会がどのように歯科衛生士を認定しているのか、認定歯科衛生士更新のためにどのような研修会を実施しているか等、聞きたかった。

【要望、その他】

- ・日本歯科衛生士会が検討している専門士制度は、いつ頃実施予定かを知りたい。
- ・有して要ることによる点数や給与のアップもないので、次世代の衛生士が資格取得を望まないことに困っている。

7. 今後フォーラムにして欲しいテーマがありましたらお書きください。

【専門資格、教育カリキュラム】

- ・このテーマで継続してディスカッションしていただきたい。
- ・次世代の歯科医療職者による専門資格獲得に関する経験談と提言。
- ・各学会の認定歯科衛生士制度について。
- ・歯科衛生士と歯科技工士の認定若しくは専門を取得された方々の活動の場について。
- ・職業、資格の発展に必要な教育カリキュラムとはどのようなものか。現在不足している教育について。教育者の育成について。

【多職種連携や職域拡大】

- ・多職種連携における歯科から発信できることとその事例について。(歯科技工士が参加している事例)。
- ・歯科技工士の人材育成(数の確保も含めて)と職域拡大の可能性について。